



主力製品（デッキクレーン）

- 本社所在地：愛媛県今治市
- 事業概要：船舶用甲板機械・一般機械装置の製造販売
- 常時使用する従業員：258名（2024年9月時点）
- 現在の売上高：105億円(2024年9月)
99億円(2023年9月)
60億円(2022年9月)
- 法人番号：3500001012321
- Web：https://manabezoki.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
眞鍋 将之

“信頼と革新”で地球規模の暮らしを支える

眞鍋造機は、365日24時間稼働する船舶を支える体制をワールドワイドに強化し、お客様にさらなる安心と信頼を届けます。社員一人ひとりが働きがいを感じ、成長できる環境づくりと、待遇の向上に取り組みます。地域には雇用と活力を創造し、社会には持続可能な未来の価値創造に貢献します。ロボットシステム事業では、人とロボットが協働する新しい社会の実現を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の150億円達成に向け、一般商船向け甲板機械の成長とともに、オフショア・作業船向け製品や一般産業用製品の拡充ならびにロボットシステム事業を立ち上げ、年率6%程度の成長を目指す。

課題

- ・海外、特に東アジア・東南アジアの販売拡大
- ・洋上風力発電関連向け製品の開発
- ・設計・製造キャパシティの増大と省人化
- ・ロボットシステム事業のビジネスモデル構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・設備投資による製造ラインの拡大、製品の大型化対応
- ・3D CADならびにAI等を用いた設計業務、アフターサービス業務の効率化・高度化（DX推進）
- ・世界中の代理店との協業によるアフターサービスの強化
- ・ロボットシステム事業のSaaSプロダクト化

実施体制

- ・社長直轄の新規事業部署の立ち上げ、法人化
- ・DX推進チームの立ち上げ
- ・アフターサービスマニュアルと研修プログラムの充実
- ・幹部候補・事業部長の育成